



th

Anniversary

from 1983 to 2023

ALPHA CLUB GROUP
FUKUSHIMA



家族の新しい ストーリーを つくりましょう

結婚式やお葬式、七五三や賀寿のお祝い。
日本には人生の節目ごとにさまざまな儀式があります。
私たちアルファクラブグループは、
皆様に寄り添いながら、
ご家族の儀式を作り上げてきました。

創業から40年、
儀式はその時代ごとに少しずつ形を変えたり、
新しい要素を加えたりしてきました。
しかし、それぞれの儀式の根底に流れる
ご家族の思いは変わりません。

私たちはこれからも、
皆さんの思いを大切に、そして時代の流れに沿って、
ご家族の儀式を作り上げていきたいと考えます。

連綿と続くご家族の物語に
新しいストーリーを紡ぐために。

SPECIAL INTERVIEW

グループ会長

神田 成二

グループ副会長

稲川 治利

福島法人が設立されたのは昭和58年のことでした。

当時、単身で郡山に赴任した神田会長と、その2年後に着任した稲川副会長。

2人はどのように会社を育て、地域に根付かせたのでしょうか。

そして、震災やコロナ禍を経て葬儀や結婚式の形も変わりつつある今、

将来をどのように見据えているのでしょうか。

SEIJI KANDA

アルファクラブ武蔵野(株) 代表取締役会長
アルファクラブ(株)(福島) 代表取締役会長
アルファクラブ(株)(栃木) 代表取締役会長
サイカンシステム(株) 代表取締役会長
アルファクラブ静岡(株) 代表取締役会長

HARUTOSHI INAGAWA

アルファクラブ武蔵野(株) 代表取締役社長
アルファクラブ(株)(福島) 代表取締役社長
アルファクラブ東北(株) 代表取締役会長
アルファクラブ(株)(栃木) 代表取締役社長
サイカンシステム(株) 代表取締役会長
アルファクラブ静岡(株) 代表取締役会長
(株)岐阜冠婚葬祭互助会 代表取締役会長

SPECIAL INTERVIEW

福島でゼロからのスタート まずは「互助会」への理解を目指しました

—— 昭和58年、福島に進出された頃のお話を伺いたと思います。神田会長が最初に福島に入られたそうですね。

神田：そうですね。埼玉から単身赴任で郡山に入りました。当時、福島県では「互助会」という言葉自体が浸透していませんでした。「互助会って何？」と聞かれることも多かったですね。月々会費を払い、冠婚葬祭のために積立てていく会だと説明すると、掛け金だけ集めて逃げてしまうのではないかと、詐欺ではないかなどと言われたこともあります。ですから、そもそも互助会とはどんなものかということを知っていただくことから始めました。地元で募集した社員も全員互助会については知りませんでしたから、私が講師になって勉強会を実施したりもしました。

また、地域の方に受け入れていただくためにも、早く斎場を作らなければならないと思っていました。郡山市に土地を見つけて、一号店を作りました。それと同時に会津若松の営業所に葬祭の施行ができるようなものを作った記憶があります。当初は葬祭の施行数も月に数件ほどで、本当に徐々に、徐々に、増やしていったというのが始まりの頃でしたね。

—— 稲川副会長はいかがでしょう。

稲川：私は神田会長に2年くらい遅れて福島に入らせていただいたのですが、その頃はまだ施設はできておらず、互助会の営業をするのにも苦労しました。

やはり地域の皆さんに互助会のことを理解していただくことが必要でしたから、まずはそこからでした。ただ今思えば、福島県内も道路が延び町も広がり、時代が変わろうとしていた頃だったのだと思いますね。

昭和61年に「郡山玉姫殿」がオープンしたのですが、そこから徐々に施設を増やし、葬祭や結婚式の施行数も増え、地域に根付くことができたのではないかと思っています。

神田：「郡山玉姫殿」は福島県に来てから短い期間で苦勞して完成させたので、初年度に400組余りの結婚式を施行したことは、鮮明に記憶しています。もちろんそこからさらに数を増やす努力の日々が始まったわけですが…。

—— 福島という土地柄については何か印象的なことはありましたか。

神田：埼玉との道路の違いは印象に残っていますね。雪が多い所で、当初はまだスパイクタイヤの時代だったので、冬の間にはスパイクタイヤで道路が削られ、春先になると粉じんがすごかったという覚えがあります。

稲川：確かに雪は多いと思いました。40年前の方が、今より雪も降りましたね。当初は雪道の運転にも苦労しました。

神田：最初に福島に着任が決まった際、福島には海があるのでそれは楽しみだと思いましたが、私は船や釣りが大好きなので、いずれは福島の海を楽しみたいと

思いました。

稲川：海もそうですが、福島は自然が豊かなところで、また会津、中通り、浜通りとそれぞれ気候や地域性の異なる3つの地方があり、それは営業面では大変な部分もあるかもしれませんが魅力的な県域だと思いましたね。

—— 40年の間にはいろいろなことがあったと思いますが、中でも東日本大震災は東北地方に甚大な被害をもたらしました。

稲川：私は3.11の際、郡山市にいたのですが、自分自身が感じた揺れよりも、その後被害の実態を知るにつれ、とんでもない災害が起きたと感じました。

神田：私は出張中だったのですが、出張先で人に教えられて惨状を知り驚きました。急いで郡山に向かおうとしたのですが、それが大変でした。東北自動車道がでこぼこ波打っていたのも、すごい災害が起きたのだということを改めて感じさせられました。

稲川：私共の施設にも多大な被害がありました。幸いにも人的な被害はありませんでした。その後、施設については順次復興しました。

また、震災後に避難所となっていた郡山市のビッグパレットふくしまや開成山公園で炊き出しを行ったり、復興再生イベントである「福魂祭」に協力したり、さまざまな形で地域の復興にも取り組んできました。

東日本大震災からの復興 さまざまな形で地域社会への貢献も

—— 震災復興以外の場面でも、さまざまな社会貢献に取り組んでいらっしゃいますね。

稲川：そうですね。児童養護施設の児童を招いて七五三姿で記念撮影を行ったり、ゲートボール大会を開催したりしてきました。また、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、感染防護品を病院へ寄付させていただいたりもしました。

神田：やはり地域社会の一員として「お客様の暮らす街や地域でもっとお役に立つ社会に必要とされるアルファクラブグループ」のスローガンのもと、地域に貢献できればと思っています。

稲川：地域の皆様が元気であることが引いては私共の仕事にも繋がりますから、これからもさまざまな形でお手伝いを

していきたいと思っています。

—— そのコロナ禍では、冠婚葬祭の儀式への影響も少なからずありました。

神田：やむなく結婚式を延期されたり、中止されたりした方も少なくありません。葬儀も小さな葬儀が増え、婚礼においてもファミリー婚や写真撮影のみといった形を選ぶ方も増えました。実際、売上は大幅にダウンしました。ですから経営者として何とか売上を維持するために工夫するように指示した記憶があります。

稲川：今、会長が言われたことに加え私共は冠婚葬祭業ということで、これまでは結婚式と葬儀を中心にしてきたわけですが、さらに七五三や成人式、お正月のおせち料理に力を入れるなど会社として

体質を変更してきています。これまで以上に日本人が古来大切にしてきた季節ごと、人生の節目ごとの祭礼や儀式を、地域の皆様と一緒に、そんな形で業務の幅を広げているところです。

また、会社の経営面での見直しも行っていきます。たとえば葬儀や結婚式の規模が小さくなるということは、駐車場も小さくて済むわけです。かつては100台、150台必要だったものが、今は50台もいらない。それでは空いた土地をどう活用するか。土地の再利用、新たな事業展開なども考えていかなければなりません。他にもさまざまな形で会社自身が進化したというか、そういう部分はあります。これからはさらにいろいろなことを考えて、いろいろなことをやっていかなければならないと



最終的に、
お客様に喜んでいただくことが
何よりも大切だと思っています

— 神田



時代の変化をとらえ、調整できる
そんな柔軟性も必要です

— 稲川

時代とともに変わる儀式の形 進化し続ける会社の中で

思っています。常に時代や社会情勢、お客様のニーズを見極め、対応していく柔軟性を持っていたいと思います。

—— ところで、お二人は社員として入社し、そこからトップに上り詰められました。大きな組織の中でどうすればトップになれるのでしょうか。

神田：そんなことは考えたこともないので、どうお答えしたものか難しいですね。ただ、私は入社当初から常に、会社がどうすれば良くなるか、大きくなるか、そのための努力をひたすら続けてきました。その結果が今なのではないかと思っています。

私が入社した時には、社員は7～8名しかいませんでした。そこから長野県、栃木県、福島県に進出したわけで、これが会社が大きくなっていき始まりでした。埼玉を含めて4つの地盤ができた段階で、

誰がどこの責任者になるかということでも会社内部で話し合いが行われました。私は実際何処に行ったとしても一生懸命やるだけだと思っていたので、残ったところの何処でも良いよということで結局福島に行くことになったのです。でも、結果として私は福島で良かったと思っています。先ほど言ったように、赴任した当初は互助会への理解がなかった福島の方達にどうしたら理解していただけるかを考え、努力を重ねるうちに皆さんに受け入れていただきました。そんな積み重ねが今につながっているのだと思っています。

稲川：私も埼玉から福島に来たわけですが、その時に考えたことは、やはりいかに会社を大きくするか、売上を上げていくかということでした。

私の場合、福島に赴任した当初に青

年会議所に入会したのですが、当初はもちろん知っている方もおらず会社も小さかったので、何処の誰だか、何の会社か分かっていただけない状態でした。それが今では、お陰様で誰でも知っている会社になっている。イコール、いかに存在感のある会社に成長したかということだと思います。それは会長や私だけでなく、一緒に頑張ってくれた社員のおかげだと思っています。

さらに今、当社は福島管轄として山形県、岩手県、茨城県、岐阜県に進出していますが、そういう意味ではどんどん売上と実績を積み重ねています。どの県のどの地域でも、地域一番店を目指してやってきましたし、それは今も、これからも同様です。

そしてどんな状況であっても職員1人ひとりの努力こそが会社全体の成長に



地域のお客様に喜んでいただく 日々の積み重ねが会社の未来につながります

つながることは変わりありません。会長が入社された頃の社員数人でも、それからお一人で福島に来られたときも、そして今のアルファクラブグループも、個の力が企業を支えるのだと思っています。トップになるかどうかは、結果としてついてくるものなのだと思います。

——大切にしている理念や、やりがいを感じることはありますか。

神田：毎日一生懸命仕事をする、ということは常に大事にしてきました。稲川さんがおっしゃったように、どんな立場にいても、与えられた場所でやるべき仕事をこなすことが大切だと思います。先ほどの繰り返しになるかもしれませんが、その積み重ねが結果となります。

私共では現在、斎場、結婚式場を合

わせて実に膨大な数の施設を営んでいます。施設の多さを誇るのではなく、どの施設でも、そしてどの仕事でも、最終的にお客様に喜んでいただくことが一番大切だと思います。それが私共の仕事の何よりのやりがいだと思います。

稲川：今、会長が施設数に触れましたが、福島管轄でも斎場は数百を数えます。斎場は近くにあればあるほど、お客様には便利ですよね。そういう意味でも、お客様に喜んでいただけるようになってきているのではないかと思います。

よく会長とも話をしますが、我々の時代はとにかく会社を大きくすることを考えてきました。

神田：そうですね。私たちの時代はひたすら会社を大きくしようと頑張ってきましたね。そういう時代だったと思います。

今、“会社を大きくする”という意味は変わってきているかもしれません。

稲川：確かにそう思います。斎場の規模や数だけでなく、加えて地域との関わりだったり儀式の内容だったり、ソフト面でも“対応力を持つ”とか“懐を深く、大きくする”とか、そんなところもまた、会社の大きさになっていくのかもしれません。今、岐阜にも進出していますし、これからもいろいろな意味で会社が大きくなるのが楽しみです。

——社員の方達には、どんなことを期待していますか。

神田：それぞれの立場や仕事によって異なるとは思いますが、一つ共通して言えることは、先ほども言ったように自分に与えられた仕事、やるべき仕事を一生懸命こ

地元寄り添い地域一番店に お客様第一で50年、100年続く企業へ

なし、結果につなげる。そんな社員になってくれればありがたいと思っています。

稲川：先ほども言ったように、これからどんどん時代が変わるとともに、冠婚葬祭に対するお客様のニーズも変わっていくと思います。先ほど神田会長からコロナ禍で結婚式や葬儀の形が変わってきたというお話もありましたが、儀式の形は変わっても儀式そのものがなくなるのではありません。私たちは時代の変化に合わせた対応をしていかなければなりません。変わっていく部分をきちんととらえ、調整できる。そんな柔軟性が重要だと思います。

——最後に、これからの展望についてお聞かせください。

神田：会社としては、毎年売上などの目

標を立てておりますので、それに向かってどんどん進んでいきたいと思っています。私自身は、その目標を見誤らないように、時に軌道修正を図ることも考えながらゴールを目指したいと思います。

今回、40年の節目を迎え、良くここまで来たという思いもありますが、一方では複雑な社会情勢の中で、改めて会社のこれからを考えていかなければならないと感じています。福島をはじめ、各地域の地域性なども考えた展開をしていかなければなりません。

稲川：福島管轄として見れば、これから人口が減少していくことも予想されます。そんな中で、県として、そして地域での一番店を目指してやっていきたいと思っています。そのためには地域に寄り添い、良い葬儀、良い結婚式を提供することで

これまでも大きくなってきたわけですし、これからも成長できればと思っています。

今、会長が40周年を迎えて会社の未来を改めて考えたいとおっしゃいましたが、私たちは冠婚葬祭互助会である以上、会員の募集をして、そこから結婚式や葬儀などにつなげることで仕事をさせていただいています。ですからこれからも、変わらずに会員募集を続け、求められる施設の充実やソフトの提案を行っていかねばなりません。それはつまり、いかにお客様に愛される会社になっていくかということだと思います。

これからも、冠婚葬祭を通じて地域社会の発展、そしてそこに暮らす皆様の豊かな生活に貢献し、地域に根ざす企業として成長できればと思っています。



GROUP COMPANY

会社概要

社 是

我々は社会に必要とされる
アルファクラブグループをめざす
仕事を通じ社会に奉仕をし
汗と涙の感動する儀式の提供を続け
これを基礎に人脈を築き上げなければならない

社 訓

- 一、人間尊重
- 一、創業の精神
- 一、初志貫徹
- 一、一致団結
- 一、教養・勇気・決断

会社名	アルファクラブ株式会社
本社住所	福島県郡山市鶴見坦2-4-5
代表取締役会長	神田 成二
代表取締役社長	稲川 治利
資本金	1億円
従業員数	983名(※)
登録番号	経済産業大臣許可(互)第2018号

会社名	アルファクラブ東北株式会社
本社住所	福島県郡山市開成3-6-15
代表取締役会長	稲川 治利
代表取締役社長	神田 貢典
資本金	1億円
従業員数	497名(※)
登録番号	経済産業大臣許可(互)第3070号

会社名	株式会社 レクスト岐阜
本社住所	岐阜県岐阜市花月町1-1
代表取締役社長	神田 貢典
資本金	6,800万円
従業員数	88名(※)
登録番号	経済産業大臣許可(互)第4041号

会社名	株式会社 レクストワン
本社住所	岐阜県大垣市伝馬町107
代表取締役社長	神田 貢典
資本金	2,000万円
従業員数	41名(※)
登録番号	経済産業大臣許可(互)第4014号

会社名	株式会社 岐阜冠婚葬祭互助会
本社住所	岐阜県岐阜市江添2-9-3
代表取締役会長	稲川 治利
代表取締役社長	神田 貢典
資本金	4,500万円
従業員数	253名(※)
登録番号	経済産業大臣許可(互)第4003号

※2022年4月末時点/子会社含む

冠婚部 施設一覧



ベルヴィ郡山館
福島県郡山市山根町8-7



パラシオ デ ビアナ ベル・カーサ
福島県福島市西中央5-49-1



ラ・スリーズガーデン ベル・ルクス
福島県会津若松市平安町2-88



ハウス オブ ベルヴィ白河
福島県白河市東小丸山24



パーフェクトウェディング
ベル・クイーンズ須賀川
福島県須賀川市岩作40-1



ウエディングサンクチュアリー
ベル・ブランシェ山形
山形県山形市松波4-10-5



ウエディンググレース
ベル・ブランシェ天童
山形県天童市鞆ノ町2-3-80



ベル・カシェット
山形県山形市みはらしの丘1-4-1



ラヴァースストリート
ベルヴィ盛岡
岩手県盛岡市本宮6-8-22



グランリゾート
ベルヴィ ロヴィナテラス
岩手県盛岡市本宮6-7-35



ベル・ティアーズ日立
茨城県日立市西成沢町1-4-30



ウエディングリゾート
フラン ベル アムール
茨城県土浦市港町1-11-8



モダンリゾートウエディング
ベル・ザ・クラス
茨城県牛久市ひたち野西1-22



ベル・ジャルダン
茨城県守谷市松並青葉4-1-12



エル・アリーヴオ
岐阜県岐阜市藪田南1-1-1



エスティーズ
岐阜県各務原市鷺沼東町6-48



花カフェ&ウエディング
ブルーミーズ 南栄町
山形県山形市南栄町2-12-14



花カフェ&ウエディング
ブルーミーズ 盛岡
岩手県盛岡市本宮6-7-35



花カフェ&ウエディング
ブルーミーズ 牛久
茨城県牛久市ひたち野西1-22



花カフェ&ウエディング
ブルーミーズ 岐阜
岐阜県大垣市東町4-6-1



レストラン H&A
山形県山形市検町2-5-28



ウエディングコンシェルジュ 結
福島県いわき市小名浜字辰巳町79 イオンモールいわき小名浜2F

葬祭部 施設一覧

岩手県

 さがみ典礼 盛岡迎賓館 盛岡市茶畑1-20-23	 さがみ典礼 メモリアルホールもりおか長安殿 盛岡市愛宕町7-8	 さがみ典礼 メモリアルホール黒石野長安殿 盛岡市黒石野2-5-15	 さがみ典礼 みたけ長安殿 盛岡市みたけ6-1-8	 さがみ典礼 青山長安殿 盛岡市青山1-19-50	 さがみ典礼 仙北長安殿 盛岡市西仙北1-33-21
 さがみ典礼 中屋敷ホール 盛岡市中屋敷町1-45	 さがみ典礼 津志田長安殿 盛岡市津志田町1-2-30	 さがみ典礼 南大通長安殿 盛岡市南大通 2-8-3	 家族葬のファミラル高松 盛岡市高松1-7-17	 家族葬のファミラル月が丘 盛岡市青山4-44-17	 家族葬のファミラル松園 盛岡市東松園1-2-1
 家族葬のファミラル青山 盛岡市青山2-2-12	 家族葬のファミラル盛岡中央通 盛岡市中央通3-5-23	 家族葬のファミラル三ツ割 盛岡市三ツ割5-1-1	 家族葬のファミラル中屋敷 盛岡市中屋敷町1-45	 家族葬のファミラル都南 2022年オープン予定	 さがみ典礼 雫石長安殿 岩手郡雫石町晴山70-1
 さがみ典礼 雫石南長安殿 岩手郡雫石町黒沢川17-7	 さがみ典礼 滝沢長安殿 滝沢市葉の木沢山511-33	 さがみ典礼 滝沢中央長安殿 滝沢市鶴岡笹森10-1	 さがみ典礼 紫波長安殿 紫波郡紫波町高水寺字大坊31-1	 さがみ典礼 矢巾長安殿 紫波郡矢巾町西徳田5-106-1	 さがみ典礼 北上長安殿 北上市さくら通り3-9-40
 さがみ典礼 北上大通り長安殿 北上市大通り3-6-26	 さがみ典礼 江刺長安殿 奥州市江刺八日町1-1-17	 おうしゅうホール 奥州市水沢佐倉河字東沖ノ目74-1	 ファミリー斎場 日高 奥州市水沢日高西27-1	 さがみ典礼 一関迎賓館 一関市字地主町1-20	 さがみ典礼 一関長安殿 一関市字台町45-1
 さがみ典礼 一関長安殿 釣山会館 一関市萩荘字箱清水7-1	 さがみ典礼 花巻長安殿 花巻市高田8-56-1	 さがみ典礼 花巻西長安殿 花巻市西大通り1-9-11	 さがみ典礼 石鳥谷長安殿 花巻市石鳥谷町八幡5-48-1	 さがみ典礼 東和長安殿 花巻市東和町土沢7-4-1	 さがみ典礼 東和ホール 花巻市東和町土沢7-4-1
 さがみ典礼 遠野長安殿 遠野市松崎町白岩18-100-1	 セレモニーゆずり葉 一関市花泉町涌津字二ノ町53	 ゆずり葉法宴館 一関市花泉町涌津字下原12-1	 家族葬ホール禮賓館 一関市花泉町涌津字一ノ町58-2	 江刺孝輝殿 奥州市江刺愛宕字大畑89-2	 孝輝殿 江刺玉里会館 奥州市江刺玉里字青篠244-1
 孝輝殿 江刺南町会館 奥州市江刺南町5-10	 孝輝殿 江刺桜木会館 奥州市江刺愛宕字観音堂沖123-1	 孝輝殿 水沢台町法宴館 奥州市水沢台町5-101	 孝輝殿 水沢台町会館 奥州市水沢台町5-101	 水沢江刺駅前ホール 孝輝殿 長安殿 奥州市水沢羽田町駅前1-38	 孝輝殿 水沢東大通り会館 奥州市水沢東大通り1-7-16

 前沢孝輝殿 奥州市前沢古城字東見寺下2-1	 孝輝殿 金ヶ崎会館 胆沢郡金ヶ崎町西根鍛冶下13-7	 北上孝輝殿 北上市稲瀬町上台201-1
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

山形県

 ファミリー斎場 山形迎賓館 山形市緑町1-9-29	 ファミリー斎場 山形南 山形市飯田西4-2-12	 ファミリー斎場 山形北 山形市五十鈴3-1-22	 ファミリー斎場 山形 山形市南館3-6-6	 ファミリー斎場 山形西 山形市江俣1-6-22	 ファミリー斎場 双樹 山形市上町2-4-12
 ファミリーブレイス花ホール 山形市江俣4-20-9	 家族葬のファミラル和合町 山形市和合町1-1-62	 家族葬のファミラル本町 山形市本町2-1-43	 ファミリー斎場 宮町 山形市宮町1-13-12	 ラ・メモリア上山河崎 上市市河崎2-2-11	 家族葬のファミラル上山 上市市河崎2-2-11
 ファミリー斎場 上山 上市市井天1-8-23	 ファミリー斎場 天童 天童市桜町6-26	 ファミリー斎場 天童北 天童市北久野本2-8-37	 ファミリー斎場 天童西 天童市交り江2-9-12	 ファミリー斎場 寒河江 寒河江市大字寒河江字塩水32-1	 家族葬のファミラル寒河江 寒河江市中央2-11-5
 ファミリー斎場 尾花沢 尾花沢市北町1-4-7	 ファミリー斎場 東根中央 東根市神町北2-2-41	 ファミリー斎場 北村山 東根市温泉町3-9684-1	 ファミリー斎場 村山 村山市中央2-7-8	 ファミリーホール かほく 西村山郡河北町谷地字月山堂685-1	 かほくべに花プラザ 西村山郡河北町谷地字月山堂160-2
 ファミリー斎場 中山 東村山郡中山町あおば13-8					

福島県

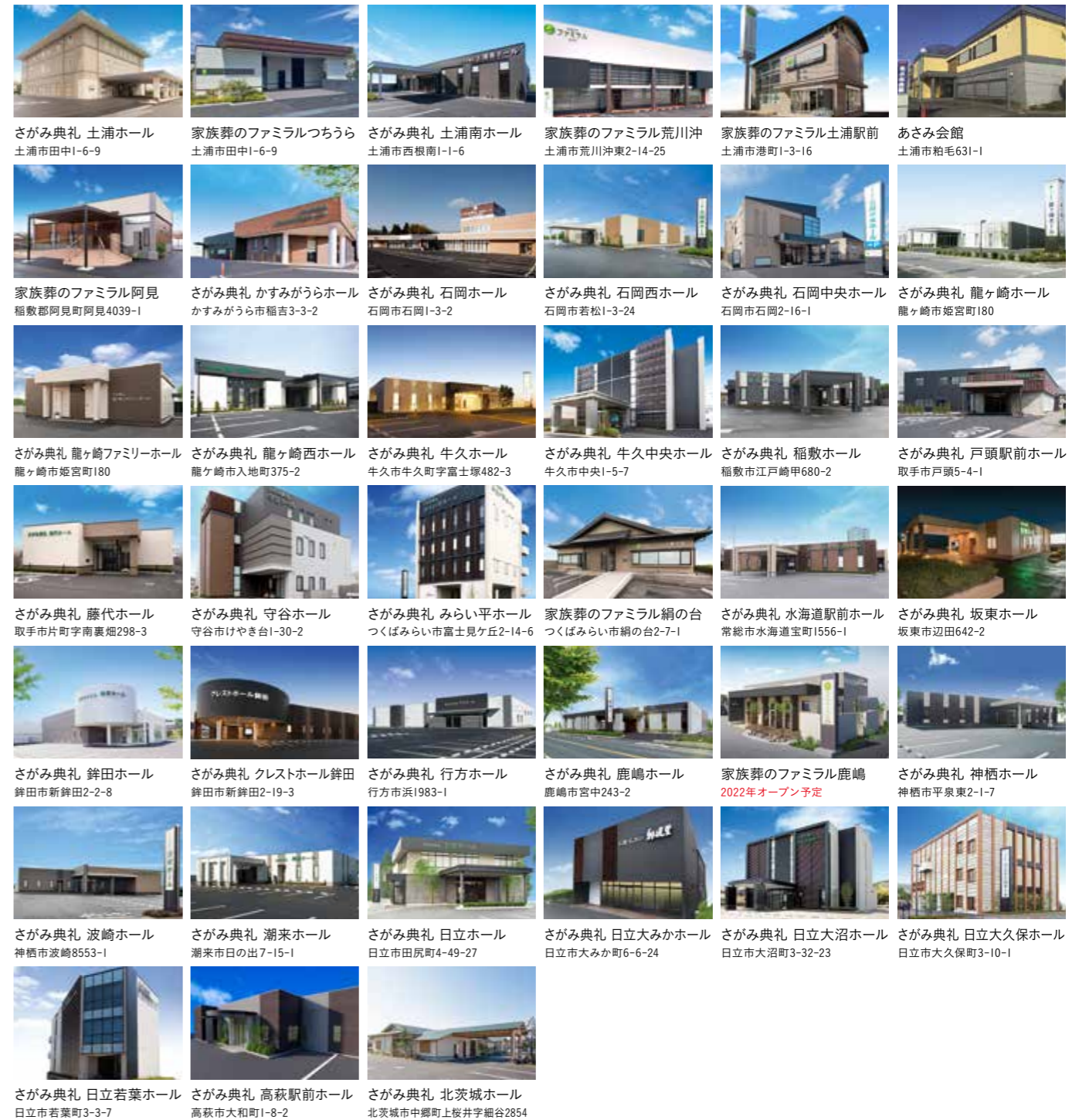
 さがみ菜根斎場 郡山市菜根1-11-14	 さがみ葬斎会館 富久山 郡山市富久山町久保田字本木29-1	 さがみ安積ホール 郡山市安積町長久保1-18-12	 開成斎場 郡山市開成3-6-24	 郡山斎場 郡山市方八町2-5-8	 さがみメモリアル斎場 新さくら通り 郡山市土瓜1-65
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

葬祭部 施設一覧

福島県



茨城県



葬祭部 施設一覧

岐阜県



岐阜愛昇殿
岐阜市花月町1-1



レスト岐阜 北斎場
岐阜市正木中4-7-50



レスト岐阜 南斎場
岐阜市藪田南3-1-6



レスト岐阜 芥見斎場
岐阜市芥見長山3-121-1



レスト岐阜 柳津斎場
岐阜市柳津町北塚3-2



岐阜葬祭 鶴見 岐阜斎場
岐阜市鶴見町18



岐阜葬祭 梅林 岐阜斎場
岐阜市旭見ヶ池町3



岐阜葬祭 六条 岐阜斎場
岐阜市六条江東3-4



岐阜葬祭 島 岐阜斎場
岐阜市北島1-2



岐阜葬祭 岩田斎場
岐阜市岩田西1-85



岐阜葬祭 ファミリーホール長良公園
岐阜市長良東1-11



岐阜葬祭 岩崎斎場
岐阜市岩崎969-1



小さなお葬式 岐阜岩地ホール
岐阜市岩地1-9-19



小さなお葬式 岐阜島ホール
岐阜市近島5-2-6



小さなお葬式 岐阜城東ホール
岐阜市城東通5-18



小さなお葬式 岐阜早田ホール
岐阜市早田栄町1-19



セレモニーホール 子安斎場
大垣市安井町6-17



レストワン 子安中野斎場
大垣市中野町4-23-1



小さなお葬式 ファミール絆 長松
大垣市長松町762



レストワン 子安中央斎場
大垣市加賀野4-46



小さなお葬式 大垣ホール
大垣市加賀野4-46



小さなお葬式 ファミール絆 海津
海津市海津町鹿野1384-12



レストワン 羽鳥斎場
羽鳥市福寿町浅平3-15-1



岐阜葬祭 羽鳥斎場
羽鳥市竹鼻町丸の内10-2



岐阜葬祭 岐南斎場
羽島郡岐南町上印食6-10



岐阜葬祭 鶴沼 岐阜斎場
各務原市鶴沼西町3-10



岐阜葬祭 そはら斎場
各務原市蘇原東栄町2-77



レスト岐阜 各務原三ツ池斎場
各務原市鶴沼三ツ池町5-227-1



岐阜葬祭 みずほ斎場
瑞穂市別府1546-1



岐阜葬祭 北方斎場
本巣郡北方町若宮2-1



セレモニーホール 子安北斎場
揖斐郡池田町八幡930



セレモニーホール ルネス関
関市東貫上7-1



小さなお葬式 関池田ホール
関市池田町161



セレモニーホール ルネス美濃
美濃市1328-1



レスト岐阜 ルネス美濃
美濃市89-1



レスト岐阜 可児中央斎場
可児市下恵土字宮前5625-1



レスト岐阜 可児斎場
可児市土田字富士ノ井5225-1



ペットセレモニー岐阜 日野霊園
岐阜市日野南9-1-9

仏壇・仏具・墓石の興運堂



郡山本店
福島県郡山市菜根4-2-18



福島店
福島県福島市宮町5-10



会津店
福島県会津若松市山見町24-13



白河店
福島県白河市和尚塚2-2



盛岡店
岩手県盛岡市中屋敷町1-57



盛岡迎賓館店
盛岡市茶畑1-20-23



一関店
岩手県一関市地主町1-20



北上大通り店
岩手県北上市大通り3-6-26



山形店
山形県山形市南館3-6-6



寒河江店
山形県寒河江市寒河江塩水32-1



日立店
茨城県日立市大みか町6-6-24



龍ヶ崎店
茨城県龍ヶ崎市緑町171



土浦店
茨城県土浦市田中1-6-9

関連施設一覧



オーベルジュ鈴鐘
福島県郡山市熱海町熱海5-38



並木温泉 ゆの郷
福島県郡山市並木3-5-14



ホテルアーバングレイスヴィラ〈いわき駅前〉
福島県いわき市平字大工町11-4



ホテルアーバングレイスグラン
山形県山形市香澄町1-18-12



水沢翠明荘
岩手県奥州市水沢大手町5-33

40年を踏まえ 次の一步を

スポーツでチームワークや礼儀、規律を学んだ。
仕事で不在の父に代わり、家族を思った日々。
少年は漠然と父の足跡を追いかけていた。

奇しくも父の転機と同じ年齢を迎え、
自身も大きな転機を迎える。
そこでこの仕事の真髄を知り、
さらなる飛躍を目指す。

会社が40周年を迎えた今、
時代の変化をひしひしと感じ、
会社のあるべき姿を模索する。

次の10年をどうするか。
その先の10年は？100年は？
これまでの日々を走り抜けたように、
今、また新たなスタートを切る。

神田 貢典

KOUSUKE KANDA

アルファクラブ東北(株) 代表取締役社長
(株)レクスト岐阜 代表取締役社長
(株)レクストワン 代表取締役社長
(株)岐阜冠婚葬祭互助会 代表取締役社長



仕事で留守の多かった父は厳しく 長男として私を育ててくれたと思います

—— まずは、今の神田社長を形成した幼少期のお話をお聞かせください。どんなお子さんだったのでしょうか。

基本的には活発な子どもだったと思います。小学校から中学、高校と、サッカーや剣道、野球などいろいろなスポーツを体験しました。サッカーも野球も決して強いチームではなかった(笑)のですが、その中でチームワークの大切さを学んだ気がします。また、剣道ではやはり礼儀や挨拶など、規律面で教えられることも多かったと思っています。

—— お父様である神田会長はどんな父親でしたか。

仕事で家にはいないことが多かったですね。進級や進学などの節目で話を聞いてくれるのですが、厳しかったと記憶しています。筋の通っていないことや、生活態度が悪かったりすると怒られましたね。

会社が福島に進出した頃、私は小学校3年生か4年生だったと思うのですが、父に呼ばれて「これから福島の方に単身赴任になるけれど、お母さんのことを頼むな」と言われた覚えがあります。そこで改めて長男であることを意識したというか、父も自分を長男として見ているのだと思い、自覚が芽生えたように思います。

大きくなるにつれて怒られることも少なくなったと思うのですが、1度だけものすごく怒られたことがありますね。学生時代、自宅に私1人だったときに鍋だったかヤカンだったか、おそらく火をつけたまま寝てしまったことがあったんです。突然、父のものすごい怒鳴り声で起こされて、

何事かと思って飛び起きると、父が真っ黒に焦げた鍋を持って「何だ、これは」と。あれは怒られましたね。確かに火事でも起こしていたら大変なことだったのですが、あの時のことは今までも鮮明に覚えています。

—— 会社を継ぐという意識は昔からあったのでしょうか。

漠然とですが、学生の頃にはそういう意識はあったと思います。それで、継ぐのであれば卒業後はまず金融機関に行けということで、4年間サラリーマン生活も経験しました。そこで社会人としての基本やルールも学びましたし、その経験というのは大きかったと思っています。

—— 実際にアルファクラブグループに入社して、いかがでしたか。

最初に営業に配属されたのですが、私自身、まずは実績を作らなければならない

という思いがありました。営業部で代理店をゼロから任されて、そのときに人を増やしていく難しさは感じましたね。最初に代理店を作ったときというのは、私1人しかいないわけですから。そこから組織を作っていくことでチャレンジしたのですが、支えてくれたメンバーというのは、その後山形や岩手に進出した際にも一緒に行ってくれた掛け替えのないメンバーです。短い時間で人材作りをした中で、そのメンバーをはじめ他の人達の手も借りました。そういう人のつながりというのは大切だと、身をもって体験しました。

—— 転機となった出来事などはありますか。

会社としては、旧アンサーズをお引き受けしたことは一つ大きな転機になったと思っています。お客様からお預かりしていた前受金を保証しなければなりませんから、売上規模を拡大するために当時は



お客様に良い商品を提供することを大事にしています 地域への恩返しである奉仕活動も続けたい

多少無理をして山形に出ました。これが今のアルファクラブ東北で、そこから岩手にも進出して、さらに現在につながっています。

私にとっては、転機と言えるかどうか分かりませんが、岩手進出が成長のポイントだったと言えるかもしれません。

実は会長が福島に出てきたのが33歳のときなんですね。そのことを以前から会長は何かにつけてずっと言っていたんです。「私は33歳で福島に出てきた」と。そして意識していたわけではないのですが、私が岩手に出て行ったのも33歳のときなんです。そのことに気づいて、ちょうど自分も33歳だし会社を大きくするためのきっかけにしたいと思いました。また、私共の仕事はいわゆる“人口商売”というか、人口が減少すると難しくなる。エリアを広げてでも対象人口を増やしたいという狙いもありました。岩手進出の際には、そんな2つの思いがありました。

さらに、M&Aをした先の方達といかにして融合していくか。押しつけるだけでもダメですし、それまで甘かった部分を気づかせることもしなければならぬ。そういったことも勉強になりました。結果として岩手進出は転機でもあり、学ぶことも多かった仕事だったと言えます。

——最近では岐阜への進出もありました。

そうですね。また新しい土地でのスタートを切りました。「岐阜」は中部地方に位置する県で、もちろん東北とは違う風土を持っています。自然が豊かだということ

ろでは福島県に通じる部分はあるかもしれませんが。私共では、県内のアクセスの良い場所に「レクスト岐阜」や「レクストワン」、「岐阜葬祭」などの葬儀場を展開していて、お客様のニーズに合ったご葬儀ができるような施設となっています。さらに婚礼は2施設と、フラワーショップとカフェが融合した婚礼施設「ブルーミーズ岐阜」を展開しています。まだまだこれからですが、これまで福島をはじめ各地で事業を展開してきた経験と実績を活かし、さらには赴任したスタッフの努力によって、地元の皆様に愛される企業として根付かせていきたいと思っています。

——経営理念についてお聞かせいただけますか。

私は何よりもお客様に良い商品を提供することを大切にしています。我々の商品というのは結婚式とお葬式がメインで、つまりはサービス業ですから、気配り、心配りこそが我々の商品です。たとえばビールにしても家で飲めば1杯200円位で済みますが、それが飲食店では、飲み方によっては1杯800円位、あるいはそれ以上することもあるわけです。それはビールやグラスを冷やしたり、おいしいおつまみをセットしたり、さまざまな付加価値がつくからなんです。その付加価値こそ、気配りと心配りによって生まれるものだと思います。

ですから、たとえば結婚式1つをとっても、いかに付加価値をつけるかということになるのですが、それはつまり、いかに

お客様である新郎新婦、そしてご家族やご招待客の皆様に喜んでいただけるかということだと思います。そして、その付加価値は1組1組のお客様でそれぞれ異なるものです。ですからお客様に寄り添い、お客様の気持ちを理解することが必要になるのです。

そのためにも現場でお客様と直接接するスタッフが大切だと思っています。現場で頑張ってくれるスタッフがいるから、私も含めそれぞれの役職の責任者が責任者でいられる。そういうところを勘違いしないように、現場のスタッフの仕事というものを理解しなければならぬと思っています。

——会社として、これから変えるべきところや変えてはいけないとお考えのことはありますか。

今、変えていこうと思っているのは会社の福利厚生です。今言ったように、現場のスタッフが働きやすい環境を作っていかなければならないと思っています。私共の会社では部署によって休みが取りづらかったりするので、そこはできるだけ早く変えていきたいですね。かつて、葬祭部などはそういう世界なのだと思われていましたが、今入社してくる若い子達にそれは通用しない。そういう意味では当社なりの働き方改革はしていかなければならないと思っています。

一方、変えてはいけないという部分では、社是にも謳っているのですが、私たちの仕事は、仕事で奉仕をして、その仕事



仲間であるお取引業者、支えてくれたOBの皆さん さまざまな人に本当に感謝しています

をもとにさらにお客様を増やしていく。それが互助会というシステムです。ですからこれからは互助会の営業活動というのは今以上に強化して、全社員でやっていかなければならない。冠婚葬祭互助会業としてやっていく上で、絶対にふれてはいけない部分だと思っています。

——近年、アルファクラブグループとして力を入れている社会奉仕活動に関して教えていただけますか。

我々はこの40年間、地域の方々に利用していただいてやってきたわけで、その地域にどういう形で貢献できるのかということを考えてきました。未来を担う子ども達を応援したいということで、子ども食堂も開催しました。また、高齢者の方達に元気でいていただけるよう、ゲートボール大会やグラウンドゴルフ大会の開催やお手伝いもしています。

今後は、たとえば友引の日に、葬祭場

をコミュニティセンター代わりに使っていただいて、おじいちゃん、おばあちゃんに集まっていただく。おじいちゃん、おばあちゃんが自由に集まって、お茶を飲んだりみかんを食べたりしながらおしゃべりをして過ごす。そんなふれあいの場も提供できたいと思っています。もちろん、お年寄りに限らず、地域のコミュニティに利用していただくというのも良いと思います。せっかく地域にある施設ですから、いろいろな利用方法を考えて提案したいと思っています。

あとは仕事柄、七五三や成人式といった「儀式」をきちんと守っていきたいと思っていることもあり、養護施設の子どものさんを招いて七五三の記念撮影を行っています。実は施設のお子さんというのは、子どもの頃の思い出に残るような写真があまりないケースが多いんですね。ですから、実際に記念撮影を行ったお子さんや施設の先生からお手紙をいただくの

ですが、本当に喜んでいただいています。これは今後も継続したいと思っています。

——アルファクラブグループには各県にお取引業者会がありますが、お取引いただいている業者の方には何かありますか。

お取引業者会は、本当にグループにとって仲間だと思っています。実際、業者会の皆さんがいなければ結婚式もお葬式も成り立ちません。これからも業者の方達と共にその地域での占有率を高めていきたいと思っています。

また、結婚式や葬式の運営や商品提供だけでなく、せっかくさまざまな個性を持った企業や商店の皆さんが集まっているのですから、それぞれの分野での商品開発や提案もどんどん行っていただければと思います。さらに開発した商品や提案があれば、うちを通して販路を広げることができると思うので、ぜひ、積極的に取り組んでいただきたい。いずれにしても取

今後は本業の他に柱となる事業も 40周年を機にフレッシュな気持ちで挑みたい



引業者の皆さんもうちも発展する、そんなお互いウィンウィンの関係でより良い形を作っていければと思います。

—— 40周年を迎え、会社を支えてくださった諸先輩に対して、またOB会についてお願いします。

縁があって当社で働いてくださった方達が互助会の会員を集めてくださったからこそ、会社がここまで成長できたのだと思っています。OB会の皆さんはじめ諸先輩方には本当に感謝しています。昨年OB会を結成したのですが、皆さんには、今後も我々のことを指導し、支えていただきたいと思っています。コロナ禍でなかなか会合を開くことができませんでしたが、今後状況が許すようになったら、ぜひ気軽にOB会に参加していただきたいですね。私もぜひ、OBの皆さんが昔苦勞され

たお話などを伺ってみたいと思います。

—— 今後の展望はいかがでしょう。

今後は、特に若手メンバーとともに、新たな売上の柱となる事業を作っていきたいと思っています。もちろん、お葬式も結婚式もなくなるとは思いますが、どちらもそのスタイルは確実に変わってきています。私が入社した20年前、10年前、そして今を考えると、結婚式は少子高齢化もありますし、実施率も低くなっています。どんどん商圏規模は縮小しています。葬儀も今は人生100年時代とも言われ、高齢化とともに葬儀の規模も縮小しています。業界としてさまざまな啓蒙活動も行っていますが、それだけでは難しいと思います。ですから、本業は本業で件数や占有率を高める努力をしつつ、何か他の部分で売上の柱となる部分を掘り起こして、

活性化したいと思っています。

それにはやはり、若手の社員、スタッフの発想や行動力に期待しています。現在、飲食業や宿泊業などの分野も手掛けていますが、その部分についても新しい発想やサービスによって成長させたいと思います。もちろん、本業でも常に新しいアイデアは大切です。部署や立場の垣根を超えて、積極的な提案をしてほしいと思っています。そのためにも、私たち経営陣は、自由に働きやすい職場環境を整備し、スタッフがのびのびと働けるようにしていかなければなりません。

この40周年という節目は、会社にとっても私自身にとっても、これまでを振り返り、今を見直す良い機会だと思います。そして、これから先50周年、さらには100周年に向けて、改めてフレッシュな気持ちで挑んでいければと思います。

アルファクラブグループを支える3人に 今後の想いを伺いました



“原点回帰”をモットーに 心を込めた仕事で感動を伝えたい

常務取締役 小沼 裕治

埼玉で8年、福島で20年余り、気がつけば30年近くを葬祭一筋に務めてきました。常に、亡くなった方のためにどれだけ自分の力を注ぎ込めるかを考えて仕事をしてきました。また、心を込めて仕事をすれば、感動を伝えることもできます。そして葬儀は昔から続く日本の文化でもあり、時代の変化とともに形は変わっても、その光を消してはならないと思っています。

私自身は“原点回帰”をモットーに、常に基本に忠実に仕事と向き合うように努めてきました。これからも初心を忘れず、お客様に感動を伝えられればと思っています。

初心を忘れず、健全経営で無借金企業を目指す

常務取締役 小泉 正弘

35年にわたり経理や財務、総務の分野を担当してきました。その間、昭和、平成、令和と3つの時代にまたがり、会社は大きく成長してきました。私自身も常に勉強させていただき、会社とともに成長してきたように思います。

会社は大きくなっても、互助会という形でお客様のお金を預かって仕事を進めるということは変わりません。また、どんな仕事も楽してできる仕事はありません。私たちはその大切さを常に意識していなければならないと思っています。これからも初心を忘れず健全経営を行い、無借金企業を目指してまいります。



社会情勢の変化に応じて 業務の効率化や職場環境の改善を

常務取締役 古川 里三

新卒で入社して37年、ずっとIT系の業務を担当してきました。時代の変化、そして会社の拡大とともに社内のIT環境を整えるべく務めてきましたがこの仕事は状況を正確にとらえ分析し、そして共有することが求められます。そういう意味でも仕事には常に真摯に向き合うことを大切にしてきました。

社会情勢の変化に伴い当社でもDX推進に取り組み、業務の効率化や職場環境の改善を目指しています。そして、これからも全エリアにおいて地域一番店を目指す企業でありたいと思っています。



CROSS TALK

未来へつなぐ座談会

アルファクラブグループの次代を担う皆さんに
神田社長とともに会社のこれからを語っていただきました。
アルファクラブグループで働き、感じていること。
そのやりがいや、大切だと思うこと。そして将来。
皆さんは会社の未来をどのように考えているのでしょうか。

CS部 係長
嶋 友之

入社9年目。さまざまな職種を経験した
思い入社。現在はお客様のご意見
等をお聞きするCS部で、お客様の満足
を目指す。

葬祭部 副本部長 續橋 寛

新卒で入社し14年目。入社当初より上司が
現場の声を大切にしていることを実感。それ
を励みに現在は後輩の育成にも心を砕く。

企画室
古川 視希

入社11年目。就職氷河期に新
卒で入社。「総務はいわば会
社の裏方の存在」と、縁の下の
力持ちとして皆に認知される
べく努力中。

冠婚部 ベルヴィ郡山館 副支配人
渡部 沙織

入社16年目。かねてよりウエディングプランナー
に憧れ就職。営業部に配属された後、初志貫徹
でプランナーに。「お客様の感謝に感謝」

オーベルジュ 鈴鐘 女将
鈴木 真由美

入社22年目。ずっと司会の仕
事を務めてきたが、接客が好き
だったこともあって2021年
5月より磐梯熱海温泉で女将
業に転身を果たす。

営業部 地区長 岩澤 暁生

入社16年目。会津出身。大学卒業後群馬で就職
するも、県内に戻ることを決意し入社。2022年2月
より岐阜に赴任。新天地での活躍を目指す。

営業部 佐竹 藍梨

入社5年目。当初は事務員として入社するが、現在
は山形県の西営業所で代理店を受け持つ。「良い
お客様ばかりで、恵まれています」

冠婚部 ベルヴィ盛岡
マネージャー 佐藤 大

入社8年目。福島出身。大学在学中に合同説明
会に参加し入社。「人から“カッコイイ”“すごい”と
言われるような仕事」が目標。

営業部 地区長
大和田 佑磨

入社12年目。福島出身。大学
卒業直前の3月入社。一人で
も多くのお客様から感謝の言
葉を聞きたいと、現在岐阜で
奮闘中。

冠婚部 フラン ベル アムール
チーフ 菊池 美香

入社10年目。もともと人と接する仕事があったこと
もあり、地元のピュアベルヴィいわきで勤務。現在は茨城県
土浦市フランベルアムールでプランナーを務める。

——— 現在の仕事やその魅力、会社に
ついての思いなどをお聞かせください。

佐藤：私は岩手のベルヴィ盛岡に勤務
しているのですが、アルファクラブグルー
プにはいろいろな部署があり、さまざま
な人がいます。そんな中でうちの会社は、部
署間の交流というのは他社に比べて多
いのではないかと考えています。いろい
ろな人から刺激を受け、自分自身も成長
できるのではないかと考えています。

佐竹：私は山形で代理店をしているので
すが、関わるお客様が皆さん良い方ば
かりで、また営業所の雰囲気もとてもよく、

一緒に働いている方はもちろん葬祭部や
冠婚部の方も皆さん一生懸命お客様と
接していて、とても大好きな会社です。

大和田：岐阜の営業部で地区長をさせ
ていただいておりますが、高額なお金をお
客様からお預かりした上で、感謝の言
葉を言っていただけるというのは、この仕
事の醍醐味なのかなと思います。それ
に加えてこの会社は、そこに営業担当が
お客様担当として寄り添うことができると
いうのがすごく良いところだと思います。

岩澤：私も営業部ですが、この仕事は
一言で言うと「飽きない」仕事だと思い

ます。毎日違う人と関わりますし、お客様は
一人一人違う人生を歩んでいらっしゃい
ます。私はこの会社に入社する際に漠然
と人の役に立つ仕事がしたいと思って
いて「結婚式やお葬式のお手伝い」とい
う求人広告に引かれて応募したんです。
そういったところに携わっていけること
が一番の魅力だと思っています。また、頑
張ればきちんと評価されるところも魅力
ですね。

續橋：そうですね。うちの会社はどの部
署においても、上層部の方が現場の声
を受け止めてくださるので、ありがたいと

お客様とのふれあいがやりがいに 部署間の風通しもよく、頑張れば結果が出る会社

思っています。自分自身10年以上働いてきて、1年目、2年目の頃にも経験の浅い自分の声を拾っていただいたという実感もあり、それは励みになりました。



—— 渡部さんと菊池さんはプランナーということですが、どんなお仕事でしょう。

渡部：ブライダルの仕事というのは、私たちが仕事をさせていただいているにも関わらず、お客様から「ありがとうございます」と言ってくれます。それが嬉しくて、今まで続けられたのではないかと思います。私自身ウエディングプランナーに憧れて就職したので、個人的には夢が叶ったといえます。

菊池：プランナーという仕事は、お客様と一番近くで深く関わらせていただく仕事なので、やはり直接感謝の言葉が言われるのが励みになります。不安もありプレッシャーを感じることもありますが、逆にやってやるぞという気持ちも生まれます。メンバーの支えもあって成功した際にはお客様に喜んでいただけます。だから、私も頑張っているのだと思います。



—— 嶋さんはCS部、古川さんは総務部ですね。

嶋：CS部は、お客様のご意見を伺う部署です。もちろんお客様と接することも楽しいといえるのですが、CS部は雰囲気がとても良いですね。自由で明るい雰囲気なので、たとえばお客様からお叱りの言葉をいただいて落ち込むこともあります。部内で励まし合ったり部内で話し合ったりして、次にお客様に電話を掛ける際には、最後に「ありがとう」と言ってもらえるように、チームワークで働いています。



古川：私は皆さんと違って、お客様と直接接することはない裏方です。だからこそ一歩引いて会社を俯瞰的に見ることができるとはおもっています。また、「この仕事のことは古川さんに聞けば何とかなるだろう」と言ってくれれば、嬉しいですね。

—— そして、今日は和服で参加していただいた鈴木さんは、磐梯熱海のオーベルジュ鈴鐘の女将ということですが。

鈴木：2021年5月からオーベルジュ鈴鐘の女将をしています。それまでずっと司会の仕事をしていたのですが、その頃は結婚式を成功させるために、その都度さまざまなスタッフとともに結婚式を作り上げてきました。そのことが私の喜びであり、

さらにお客様に喜んでいただくと、次も頑張ろうという励みになりましたね。今は、そんなサービスの経験をもとにして、お客様に「また来ます」とおっしゃっていただけるよう頑張っています。新たにお客様とふれあう場をいただけることに喜びを感じていますし、結婚式場から旅館へと場所は変わりましたが、働く皆が力を合わせてお客様に喜んでいただくということは変わらないと思っています。

—— 皆さんの話をお聞きになって、社長はどのように感じられますか。

神田：ここにいるメンバーの中で、岩手の佐藤君や葬祭部の橋本君などは、私が採用に関わっていた頃の入社なので、印象に残っています。意に沿わない部署で頑張ってくれてきた人も思うので、ありがたいと思います。渡部さんも、営業では嫌だなと思ってそこで辞めるのではなく、プランナーを目指して頑張ってくれたのですから、たくましいですね。気持ちを貰ってくれたから今は夢を叶え、副支配人として女性社員を支えてくれています。そういう意味では、皆に感謝しています。今日、40周年の座談会ということでこのメンバーが集まったのは、これから先、50周年へバトンを繋ぐメンバーだと思うからです。ぜひ、未来への思いを聞いてみたいですね。



たとえば鈴木さんが何故女将になったかという、以前、彼女が麺を打って作ったラーメンをごちそうになったことがあったのですが、美味しかったです。とても気配りができて、しかも接客が好きだったので、それならうちの旅館を頼むということで女将になってもらったんです。鈴木さんが女将になってから間違いなく原価管理ができるようになって、利益体質になってきたわけです。売上も伸びている。そういう意味ではこの先、磐梯熱海だけでなく本家本元の熱海に鈴鐘の2号店を出すとか、それも有り得ない話ではない。そんな話を皆さんからお聞きしたいですね。会社としても今後はさらなる広がりを探しているところでもあり、皆さんの将来への思いも知りたいところです。

—— それでは、これからどんな会社になりたい、どんな仕事をしたいといったお話をお聞きしたいと思います。

岩澤：これからの10年間というのは、本当に激動の10年になるだろうと思います。自分に置き換えて、10年先もしっかりして

いかなければならぬし、職場でも中心的存在になれたらと思っています。

橋本：岩澤さんもおっしゃったように、これから時代も変わるとは思いますし、会社の形もいろいろ変えていかなければならないと思います。そういったところを自分で認識して、自分達が変わっていくことで会社を大きくしていけたらと思います。葬祭部、営業部、冠婚部、本社合わせて、3本の矢ならぬ4本の矢で協力してやっていかなければなりません。そんな協力体制の橋渡しをできればと思います。

菊池：やはり人材育成は大切だと思います。現場でしか分からないプランナーの思いや働きやすい職場作りについて、現場の声を届けられる存在になりたいと思っています。

大和田：最近ネットで「自分でやらなきゃ誰かやる」という言葉の「誰か」の「か」に濁点を打つと「自分がやらなきゃ誰かやる」という強い気持ちに変わるという記事を見て、なるほどと思いました。今はやはり自分でやらなくても誰かやってくれるだろうという若い人は多いと思うのですが、そ

こに濁点を付けるような仕事を私はしたいと思っています。また、そんな「自分がやらなきゃ誰かやる」という強い気持ちを持ったスタッフを、5年後、10年後に向けて育てていける環境を作りたいと思います。



渡部：私が入社した当時はタクシーで行き先を言ってもわかってもらえないような職場でした。それが今では誰でも知っている。そして40年を迎える会社になったというのは、素晴らしいことだと思います。

私自身、好きだからこの仕事を続けることができたと思いますが、やはり今後は徐々に第一線の現場から、人を育てる方にシフトしなければならないと思っています。人を育てながら私自身も育ててもらえるような、そんな職場になればいいなと思っています。

原点を忘れず次の世代へ 常に夢を語れる会社であり続けたい

——古川さん、嶋さんはいかがですか。

古川： 本社には表には出ないたくさんの仕事があり、また魅力的なスタッフも大勢いるのですが、裏方なので知ってもらえない部分があります。ですので、風通しのよい職場の雰囲気を作り、裏方だけと親しみのもてる本社を作っていけたらと思います。



嶋： 現在のCS部は年齢層が高いため、今後は若いスタッフを入れてフレッシュでエネルギー溢れる職場作りをしたいと思っています。また、各部署と協力してお客様からのお問い合わせに少しでも明るいお話が増えるようにしていければと思っています。

——オーベルジュ鈴鐘のこれからの
ついてはいかがでしょう。

鈴木： 先ほど社長からもありましたが、ゆくゆくは静岡の熱海に2号店を展開できるよう、私も期待しています。

実は今、磐梯熱海温泉自体にあまり元気がありません。人気のあるカフェはあるのですが、そこにだけ行列ができるような状況です。そんな中で私は“磐梯熱海スイーツ”を作りたいですね。静岡の熱海には『熱海プリン』という人気のプリンがあります。磐梯熱海にもこんなスイーツがあるよという、おすすめのスーツを作りたいと思っています。また、うちの宿は

連泊される方も多いので、おすすめのレストランやお土産を提案できるようになれば、売上にも繋がると思います。

神田： 皆さん、自分達の後を育てていかなければならないと言ってくれましたが、次の時代に自分とともに職場を支えるのはどんな人材でしょうか。

續橋： いろいろな人達と話をしている女性の力は大きいと感じるので、女性の責任者を増やしていくことは必要だと思います。実際、女性のチームも増えています。不規則な勤務などもあるので、その辺りをきちんと考えることも必要です。

岩澤： 私は第4世代といわれている社員達だと思います。今の20代から30代の社員達が盛り上げていくことが大切だと思います。



渡部： 續橋さんもおっしゃっていましたが、本当の意味で女性の働きやすい職場を作っていかなければならないと思います。

鈴木： 鈴鐘にも春からもう1人女性が入るのですが、ウエディングプランナーと同様で若い子は結婚や出産があったりせずと働き続けるのは難しいかもしれません。しかし旅館の仕事には女性目線も大事だと思います。渡部さん、私と一緒に鈴鐘で働きませんか？(笑)
一同：(笑)



神田： 会社というのは繋がっていくもので、自分達の次の世代、さらにその次の世代と、常に先を考えていかなければなりません。特に私たちは互助会でお客様からお金を預かる以上、投げ出すことのできる企業ではないんです。常に“永続”を考えていかなければならない。

ここにいる皆さんも、これからはいろいろなことを決断していただいて、自分は決済をするだけ。そういう棲み分けをしながら部下を育てていく。それが責任者になったら一番に手をつけなければならないことです。その辺を忘れずに頑張りたいと思います。社員数も多いので、それなりに異動もあります。皆さんもまだまだ異動もあると思いますが、会社もそれだけ大きくなったのだと思っていただき、対応してもらえればと思います。

先日、役員会の席上で社歌を変えようという話が出ました。埼玉から福島に来た頃に「北へ、北へ」という歌詞の社歌で北上を目指したわけです。会長は“願ってれば叶う”と言っていましたが、実際に今、岩手まで進出し、西は静岡を越えて岐阜、島根まであります。もはや社歌の「北へ、北へ」ではなくなっています。どんな社歌になるかはわかりませんが「世界へ」という意見も出ていました(笑)。それはともかく、常に夢を語れる会社でありたいと思います。

Corporate Social
Responsibility



社会貢献活動

私たちは、常に地域の皆さんに支えられてきました。
そんな大事な地域に少しでも貢献できればと、様々な取り組みを行っています。
未来を担う子ども達のために。お年寄りの豊かな毎日のために。
そして、これからも地域が元気であり続けるために。



健康増進・地域密着

健康増進とともに、人々の絆を繋ぎ、地域の交流を深める為の活動として、2002年5月よりゲートボール大会の開催やグラウンドゴルフ大会のお手伝いを行っております。地域に密着しながら皆様の健康増進とふれ合いをサポートしていきたいと考えております。



医療従事者支援

新型コロナウイルスへの対応が長期化するなか、第一線で奮闘されている医療従事者の皆さまに対し、心からの感謝の気持ちを伝えるとともに、岩手、山形、福島の21箇所の病院へ特製弁当約5000個の差し入れを行いました。



福島県復興支援

2019年で8回目を迎えた、東日本大震災復興イベント「福魂祭」が2019年3月11日に開催されました。亡くなられた人々へ鎮魂を捧げ、温かな救済の手を差し伸べて頂いたすべての人々へ感謝し、絶対に福島を復興させる決意に賛同し協力しております。



感染防護品を寄付

新型コロナウイルス感染拡大を受け、医療の最前線で奮闘されている医療従事者の皆様の一助になればと、不足するマスクや消毒用アルコール、フェースシールドを岩手、山形、福島、茨城の61箇所の病院に寄付しました。



子ども食堂

長期休み中のこどもの居場所・健康支援、地域活動の一環として、「子ども食堂」を開催。教会での聖歌隊の生歌やゲーム、体操など、子ども同士の交流を深めました。また、食事はお祭りのような屋台を会場に準備。今後も地域の未来を支える子ども達を元気にしたい想いで開催していきます。



児童養護施設支援

新型コロナウイルスの感染拡大でイベント自粛が続く中、七五三行事を通じて楽しい思い出を作ってもらおうと、岩手、山形、福島、茨城のベルヴィグループの結婚式場に児童養護施設の児童を招いて着付け・メイク、記念写真撮影を行いました。



献血イベント参加

献血は、身近にできるボランティアだと言われています。全国的に献血の確保に苦慮している状況を鑑み、弊社も医療現場を少しでもサポートできればと、感染対策を十分に行った上で実施しました。

地域社会の一員として、これからも様々な活動に取り組んでまいります。

地域に人に支えられて40年 感謝の気持ちを忘れずに さらなる発展を目指します

福島法人が設立したのは、1983年のことでした。

あれから40年、私たちは冠婚葬祭の儀式を通して

地域の皆様に寄り添い、地域社会の発展に寄与してまいりました。

儀式のあるべき姿を考え、お客様のニーズに応え

社員が一丸となって、日々奮闘してまいりました。

そして今、皆様のおかげで40周年の節目を迎えることができました。

今、私たちは新たな気持ちで次の一步を踏み出します。

皆様への感謝の気持ちを大切に、これからも発展し続けることを誓います。

冠婚葬祭に宿る日本人の心を大切に。

地域の皆様の健やかな毎日と、地域の発展のために。



編集 後記



葬祭部 取締役部長

高橋 功



「町の葬儀屋」として1件1件の仕事を大切に。そんな創設以来の志を上司や先輩から受け継ぎ、次の世代に引き継いでいければと思っています。会社は大きくなり40年という節目を迎えましたが、改めて基本に立ち返り次の50年、100年を迎えてほしいと思います。

この記念誌編集は、文字通り40年の歩みを振り返るものですが、もう1つ会社の未来を考えるきっかけになるものだと思います。会社の新たな歴史はここから始まるのだと感じています。

冠婚部 総支配人

遠藤 守



私は現在、冠婚部全体を統括する仕事をしています。結婚式では一組一組の思いに応え寄り添うことを大切に、新しい門出を迎えたお2人の幸せをスタッフ一同願っています。今、40周年を迎え改めて初心に戻り、日々の仕事を丁寧に行っていきたいと思っています。

この記念誌編集では、これからの会社を背負っていく若手社員の想いにも触れることができ、頼もしく感じるとともに、自分自身のこれまでとこれからの見直す機会をいただけたように思います。

営業部 統括次長

遠藤 仁洋



私は入社して19年、会社の歴史40年のほぼ半分をこの会社の社員として務めてきました。その間、私なりに互助会獲得や人材育成などに力を尽してきたつもりです。かつて、社長に“実る程頭を垂れる稲穂かな”という言葉を覚えていただいたことがあります。これからも謙虚に、そして自分よりも人のことを考え、頑張っていきたいと思っています。

記念誌では大きく成長した会社のことを誇りに思うとともに、さらなる発展を目指すべく身の引き締まる思いも同時に感じています。

総務課 次長

野崎 健



入社して26年、バックオフィスとして現場を支えるべく努力してきました。テレワークやIT、DXなど社会情勢に合わせて取り組んできましたが、この記念誌で会社の成長を振り返ることができ、懐かしさも感じながら、改めて多くの皆様に支えていただいたことに感謝したいと思います。

これからも“井の中の蛙大海を知らず”とならないよう、視野を広く持ち、自分自身のアップデートも続けながら、社会に必要とされる企業であり続けたいと思います。



次ページより
40年の歩みを描いた漫画を
掲載しております

右開きとなりますので
一度冊子を閉じ表紙からご覧ください



互換性で
有縁世界
を創る!!

40周年
102699人
頑張ります!!

進化

1日1日を
大切に生きる。

笑顔で
お祝いします!!

祝40周年!
これからも共に
人生の節目に寄り添い
たいです!!

笑顔
40th

二水の水質改善が
結婚式をお手伝い
できたのが嬉しかったです!!

笑顔 笑顔で
目標達成!!

お客様の笑顔
が励みです!!

40周年
感謝を込めて
お祝いします!!

40th
頑張る
努力!!

40th
これからも
一生懸命

常に前へ

40周年 - 一生懸命
お祝い!!

祝40周年
結婚式にお手伝い
させていただきます!!

40th
頑張るのぞ

笑顔で
頑張ります!!

祝40周年
これからも
頑張ります!!

40th
頑張る
努力!!

みんなの
笑顔が
頑張る
理由!!

毎日努力!

笑顔で
お祝いします!!

祝40周年!!
これからも
頑張ります!!

笑顔で
お祝いします!!

40周年
一緒に頑張ります!!

楽しく笑顔で

お客様の笑顔
が励みです!!

天下統一

一期一会を
大切に!!

40周年
多くの方に
1日を届けます!!

笑顔で
お祝いします!!

祝40周年!!
これからも
頑張ります!!

笑顔で
お祝いします!!

40TH
感謝お祝い!!

ピンチはチャンス!
人材は宝

40th
がんばるぞ
達成!!

祝40周年
まだまだ頑張ります!!

祝40周年
これからも
頑張ります!!

笑顔で
お祝いします!!

笑顔で
お祝いします!!

笑顔で
お祝いします!!

祝40周年!!
これからも
頑張ります!!

40周年
いつも以上に
がんばります

笑顔で
お祝いします!!

笑顔で
お祝いします!!

笑顔で
お祝いします!!

祝40周年!
笑顔忘れず
頑張ります!!

40th
やるしか無い

一生懸命
仕事をして
お客様に
笑顔をお届け
します!!

PLUS ULTRA
頑張ります!!

明るく元気に
お客様の仕事を
お祝いします!!

40周年
毎日何か
結果を残す
頑張ります!!

40周年
盛り上げます!!

祝40周年
これからも
頑張ります!!

40周年!
笑顔で
頑張ります!!

一期一会
一生懸命!!

祝40周年!
笑顔忘れず
頑張ります!!

40th
やるしか無い

一生懸命
仕事をして
お客様に
笑顔をお届け
します!!

PLUS ULTRA
頑張ります!!

明るく元気に
お客様の仕事を
お祝いします!!

40周年
盛り上げます!!

祝40周年
これからも
頑張ります!!

40周年!
笑顔で
頑張ります!!

若さは年齢じゃありません!!
とにかく走り回ります!!

笑顔で
お祝いします!!

40th
日々努力!

祝40th
みんなの
笑顔が
頑張る
理由!!

40周年!
笑顔で
頑張ります!!

40周年
山形地区を
盛り上げます!!

祝40周年!
これからも
頑張ります!!

40th
地道に
努力

笑顔で
お祝いします!!

40周年
お客様の
笑顔が
頑張る
理由!!

笑顔で
お祝いします!!

笑顔で
お祝いします!!



馬鹿らず、馬鹿がず
堅実に。

毎月目標達成

40TH
さげに頑張
り!!

お客様第一に
取り組んで
いきます!!

祝40周年
笑顔で
楽しんで!!

40th
更に結果
を!!

祝40周年!
頑張ります!!

ALOHA
お誕生日
おめでとう!!

40周年
感謝
おめでとう!!
笑顔で
頑張ります!!

祝40周年
笑顔で
頑張ります!!

健康第一!
笑顔で
Happy!!

40th
頑張ります!!

40th
東面は
頑張ります!!

40周年
頑張ります!!

毎月の目標を
切り切り!!

祝40周年!!
これからも
頑張ります!!

祝40周年!!
これからも
頑張ります!!

笑顔で
頑張ります!!

40th
地域の皆様
に感謝

40周年!!
誠心誠意
頑張ります!!

これからも「最善」を
目指す!!

祝40周年!
感謝の気持ち
忘れません!

40周年
おめでとう
感謝

祝40周年!!
これからも
頑張ります!!

祝40周年!!
これからも
頑張ります!!

祝40周年!!
これからも
頑張ります!!

祝40周年!!
頑張ります!!

40周年
みんなが
笑顔に

40周年
仲間と共に
頑張ります!!

祝40周年!!
これからも
頑張ります!!

40th
笑顔で
頑張ります!!

笑顔で
頑張ります!!

40th
志高く!

Keep
Smiling!!

40周年
頑張ります!!

祝40周年!!
地域の皆様
に感謝

40th
頑張ります!!

40周年
仲間と共に
頑張ります!!

祝40周年!!
これからも
頑張ります!!

感謝の
気持ち
忘れません!!

40周年
頑張ります!!

100周年
頑張ります!!

40th
頑張ります!!

40th
感謝

お誕生日
おめでとう!!
頑張ります!!

40th
笑顔で
頑張ります!!

頑張ります!!

流るる
風の
とく

おめでとう
50周年!!
100周年!!

水口笑顔で
頑張ります!!
50周年!!

40th
頑張ります!!

ALOHA!!

必ず
目標達成!!

頑張ります!!

祝40周年!!
頑張ります!!

下の方々の
笑顔に
感謝!!

40
HANAYOME=KANAZI
おめでとう!!
「17月」に

祝40周年!!
頑張ります!!

祝40周年!!
笑顔で
頑張ります!!

40周年に
感謝
おめでとう!!
笑顔で
Happy!!

40周年!!
いつも
笑顔で
Happy!!

40th
頑張ります!!

お誕生日
おめでとう!!
感謝!!

40th
Anniversary
おめでとう!!
笑顔で
頑張ります!!

40th
頑張ります!!

40周年
頑張ります!!

40周年
おめでとう!!
感謝
おめでとう!!

祝40周年!!
笑顔で
頑張ります!!
おめでとう!!

世界を
笑顔で
Happy!!